

ボランティアスクール 開催報告 2026

開催日

令和8年8月5日(水)～8月6日(木) 2日間

対象者

市内小学5年生から中学3年生まで

参加人数

延べ 32 名 (小学5年生 8 名、小学6年生 15 名、中学生 7 名)
※高校生ボランティア 1 名

ボランティアスクールは、学年や学校を超えた仲間との出会いや、さまざまな体験をとおして、積極性や協調性を伸ばし、児童、生徒に福祉やボランティア活動に興味を持ってもらうためのきっかけづくりの講座として、毎年開催しています。

1日目

1日目午前中は、茨城県防災士会の方から防災についての講話をお聞きし、ダンボールベッドの組み立てを体験しました。防災食を自分で作る体験もし、作ったごはんをカレーライスにしてみんなで試食しました。



午後の前半は、点字に挑戦。五十音からはじまり、自分の名前の点字テープを作りました。後半は、フルーツとギターの演奏活動をされている視覚障がい者の村上守さん、真理子さんご夫妻をお招きし、演奏を聴きながら日常生活のことを伺いました。一緒に生活している盲導犬のヘレナを連れてきてくださり、近くで盲導犬を見る貴重な体験となりました。



2日目

2日目午前中は、大洋公民館で、スクエアステップとニュースポーツのフロアカーリング、ピックルボールを体験しました。普段なかなか体験できないスポーツをみんな楽しみながら夢中で取り組みました。



午後は、大洋公民館の大集会室で開催された「いのちのコンサート」を観覧しました。大塚先生の動物と暮らした経験のお話とピアノ演奏を聴いて、「感動して泣きそうになった」、「これからも飼っているペットを大切にしたい」などの感想があり、思いやりを持つことと、命の大切さを学びました。

コンサートは、一般の方の観覧もあり、「愛犬を思い出して涙がでました」、「すてきなピアノと感動の内容でした」などの感想をいただき、コンサートに来られた皆さんにやさしさのぬくもりが伝わったコンサートになりました。



～「いのちのコンサート」の感想～（参加した生徒の感想の一部です）

令和8年8月6日（木）いのちのコンサート 感想

とても感動しました。「いのち」についてよく考えてみようと思いました。また、いぬやねこはにんげんの4倍はやく成長することか分かりました。仔犬を日本語になおして、いるところかすごいなと思いました。

令和8年8月6日（木）いのちのコンサート 感想

自分が猫を飼っているで、今よりも、自分の猫を大切にしようと思いました。改めて、命の大切か分かりました。物語もピアノの演奏も素敵で感動しました。

令和8年8月6日（木）いのちのコンサート 感想

ピアノとスライドがすごく良くて、感動して泣いてしまうほど、良かったです！ピアノ、これからはがんばってください！

大塚先生へ



この事業は、赤い羽根共同募金で集められた募金が使われています。

銚田市社会福祉協議会